

産業厚生常任委員会資料

令和元年12月4日

健康福祉部 高齢介護課

目 次

1. 高齢者の健康づくり施策及び独居高齢者など的高齢者の孤立化を防ぐ地域ぐるみの取組について P 1～6

高齢者の健康づくり施策及び独居高齢者などの高齢者の孤立化を防ぐ地域ぐるみの取組について

高齢者や家族の困っていることを気軽に相談でき、みんなで手助けできる地域づくりを進めており、地域包括支援センターでは、主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などが市民の皆さんのご相談を受けています。

また、地域の民生委員・児童委員と協力し、身近な相談相手になれるように日々、活動を進めています。

◆介護予防・生活支援サービス事業について

1. 介護ファミリーサポート事業（加東市社会福祉協議会に委託）

援助してほしい高齢者（依頼会員）と援助活動をしたい方（協力会員）を結び、話し相手や家の中の整理、簡単な家事などの手伝いのほか、買い物代行（代わりに必要なものを買ってくる）を含めた支援（有償）を行っています。

【平成30年度事業実績】

- ・依頼会員数（高齢者） 132人・利用33人
- ・協力会員数（サポーター） 78人・活動21人
- ・依頼の件数 739回

2. 通所型サービス事業

介護予防・生活支援サービス事業対象者及び要支援認定者を対象に、閉じこもり予防や自立支援に資するための基準を緩和した通所型サービス。

①通所型サービスA

通所施設等での閉じこもり予防や機能訓練メニュー、レクリエーションなど様々な活動を行うサービス。

【平成30年度事業実績】

- ・元気応援通所事業利用者数 延べ1,186人（17事業所）
- ・ミニデイサービス利用者数 延べ260人（5事業所）

②通所型サービスC（短期集中予防サービス）

リハビリ専門職による日常生活活動動作の改善に向けた個別プログラムを3～6か月間行うサービス。

【平成30年度事業実績】

- ・元気になるうデイ利用者数 実20人（2事業所）

③通所型サービスB（かとうふまねっと教室）

身体状況や送迎などの問題でかとうまちかど体操教室への参加が難しい介護予防・生活支援サービス事業対象者及び要支援認定者の方を対象にかとうふまねっと教室を実施。転倒予防、認知症予防のために、50cm四方のマス目でできた大きな網（ネット）を床に敷き、規則に沿ったステップを使い、手拍子や歌いながらネットを踏まないように歩行運動を実施しています。

【効果】

- ・体力測定結果 1回目と2回目の体力測定結果の比較
片足立ち（バランス）、5m歩行速度（歩行速度）、機能的移動能力（複合的な動作能力）の改善

○アンケート（参加者の声）より

普段話をせず過ごすことが多いためお話しするのが楽しい、買い物もできて助かる、歩幅が大きくなった、足がよく上がるようになった、自信がついた、友達ができた等

【平成30年度事業実績】

- ・やしろショッピングパーク Bio 49回 延べ419人（実25人）
- ・南山活性化支援施設（ミナクル） 14回 延べ64人（実7人）

3. 訪問型サービス事業

①訪問型サービスA

介護予防・生活支援サービス事業対象者及び要支援認定者を対象に、自立した生活の継続を図るための軽易な訪問型サービス。

【平成30年度事業実績】

- ・日常生活援助事業利用者数 延べ209人（6事業所）

②訪問型サービスD

かとうふまねっと教室の参加に送迎が必要な方には、実施場所までの訪問型移動支援サービスを行い、あわせて買い物支援（やしろショッピングパーク Bio、道の駅とうじょうなどでの買い物）も行っています。

【平成30年度事業実績】

- ・やしろショッピングパーク Bio 49回 延べ280人（実19人）
- ・南山活性化支援施設（ミナクル） 14回 延べ24人（実4人）

4. 一般介護予防事業

①かとうまちかど体操教室

平成28年度の要介護度別認定原因疾患では、「要支援1・2では1位が 整形外科（膝・腰）の病気」、「要介護1～5では 1位が認知症」となっており、これからの介護予防と高齢者の生きがいがづくりの推進として、地域でのつながりや交流・筋力強化につながる体操教

室に取り組むこととし、平成25年度から介護予防体操の実践として「かとうまちかど体操教室」を開始しました。現在62か所の会場で1,340名が、グループで自主的に毎週1回集まり、「楽しく勇躍体操」や「いきいき百歳体操」を活用した体操に取り組まれています。市は、運営支援や定期的に評価を行っています。また、介護予防サポーターの養成も行っています。

【効果】

- ・体力測定結果 1回目と2回目の体力測定結果の比較
片足立ち（バランス）、長座位体前屈（柔軟性）、5m歩行速度（歩行速度）
機能的移動能力（複合的な動作能力）の改善

○アンケート（参加者の声）より

階段の上り下りが楽になった、つまずきにくくなった、気持ちが明るくなった、体操以外にもお茶をしたり、会話をする楽しみが増えた等

62か所の会場で継続した活動が行われ、楽しみに参加されている方が多い。

【平成30年度事業実績】

- ・初期支援（5グループ 延べ307人）
- ・6か月後評価（7回 延べ85人）
- ・1年後評価（6回 延べ66人）
- ・2年後評価（9回 延べ114人）
- ・3年後評価（6回 延べ77人）
- ・4年後評価（15回 延べ231人）
- ・5年後評価（19回 延べ243人）
- ・体操指導（24回 延べ337人）
- ・姿勢評価（11回 延べ136人）

②口腔講座等

口腔機能は「心身の健康」と密接に結びついています。口腔内のブラッシングと口の働き、嚥下機能の維持・回復について啓発しています。

【平成30年度事業実績】

- ・歯つらつ講座（歯科衛生士による講話） 5回 延べ142人
- ・誤嚥性肺炎予防講話（言語聴覚士による講話） 6回 延べ53人

③栄養講座

高齢期の食生活で気をつけるべきことは「低栄養」です。低栄養は筋肉量の減少、身体活動の低下を引き起こし、転倒して骨折する恐れも出てきます。バランスよく必要量栄養摂取できるよう啓発しています。

【平成30年度事業実績】

- ・ええよー（栄養）講座（管理栄養士による講話） 6回 延べ84人

◆高齢者の生活を支援する事業について

高齢化が進み、認知症高齢者やひとり暮らし世帯・高齢者世帯が増加する中、自分で生活することが困難な高齢者や生活を支援してくれる家族がない高齢者が増加することが予想され、様々な生活支援の必要性が高まっています。

1. 老人日常生活用具・貸与

一人暮らし高齢者等に対し、安心して暮らせるように自動消火器及び火災警報器、電磁調理器の給付及び福祉電話を貸与する。

【平成30年度事業実績】

・福祉電話貸与者数 2名、火災警報器給付世帯 1世帯、自動消火器給付世帯 3世帯

2. 緊急通報体制整備事業

一人暮らし高齢者及び身体障害者等に対し、急病・災害等の緊急時の迅速かつ適切な対応が図れるよう、緊急通報装置を貸与する。

【平成30年度事業実績】

・平成30年度当初設置者 302名、新規設置者 18名、撤去者 39名、
平成30年度末現在設置者 281名
・緊急通報 16件、相談 50件、誤報28件(うち救急車出動 不搬送含む 17件)
お元気コール 1,115回

3. 加東市社会福祉協議会による福祉サービス

①給食サービス

70歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯(2人で160歳以上)などに見守りと健康増進を図ることを目的にボランティアによる調理、配食サービスを実施する。利用料1食300円。

【平成30年度事業実績】

・給食サービス 240回 延べ8,265人(実255人)

②一人暮らし高齢者のつどい

70歳以上の一人暮らし高齢者を対象にバス旅行を行う。(日帰りバス旅行)
東条地域の給食サービス利用者に対し、会食を行う。(お昼ごはんのつどい)

【平成30年度事業実績】

・日帰りバス旅行 133人、お昼ごはんのつどい 12人

③ふれあいいいききサロン・喫茶

各地区・自治会で取り組まれている小地域福祉活動の一環として実施。地区の公民館等を活動場所として、住民がボランティアで運営されている。高齢者の外出の機会づくり、仲間づくりを目的としたサロンが多いが、全住民を対象とした地域の居場所として喫茶形式で行われている地区や、子どもたちも参加した世代間交流を目的に取り組まれている地区もある。

【平成30年度事業実績】

・ふれあいいいきサロン・喫茶 77地区

④外出支援サービス

車いすを利用する外出が困難な高齢者・障害のある方に対し、通院の送迎をボランティアにより実施する。

【平成30年度事業実績】

・外出支援サービス 延べ126人（実7人）、福祉車両の貸し出し 延べ253人（実51人）

⑤日常生活自立支援事業

判断能力に不安のある高齢者、知的障害者、精神障害者（※本人の利用意志が確認できる方）に対して、福祉サービスの利用援助、日常生活費の金銭管理等を行う。

【平成30年度事業実績】

・日常生活自立支援事業 実11人

◆介護に対する知識や交流を広げる取組について

1. 地域ケアホットミーティングについて

高齢者の地域ケアづくりとして、介護予防・安心な生活・在宅介護について、地域に出向いて出前講座を実施しています。

【平成30年度事業実績】

・地域ケアホットミーティング 23回、延べ824人

2. 認知症サポーター養成講座

認知症についての基本的な知識を学び、病気を正しく理解するための講座です。地域や職場などから申込があれば、希望の日時・場所で随時、開催しています。

【平成30年度事業実績】

・認知症サポーター養成講座 16回、延べ462人

（加東警察署、郵便局、企業、老人クラブ、地区、施設、市内中学校、市職員、播磨看護専門学校）

3. 物忘れ予防カフェ（絆カフェ）

認知症の人を介護する家族の負担の軽減を図るため、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき集える場です。認知症の本人や家族が地域で悩みを相談したり、認知症でないかと不安を抱く人や初期の認知症の人や家族が気軽に立ち寄り、交流できる場として、地域の公民館や事業所、民家等で広がってきています。

- ①物忘れ予防カフェ「窪田」(月1回)、②物忘れ予防カフェ「西古瀬」(月1回)、
- ③物忘れ予防カフェ「山国」(月1回)、④物忘れ予防カフェ「池之内」(月1回)、
- ⑤絆カフェ すみれ (月2回)、⑥みんなの広場「はな」(月1回)、
- ⑦絆カフェ「たんぽぽカフェ」(月1回)、⑧絆カフェ マイハウスみのり「オレンジカフェ」(月1回)、
- ⑨喫茶サロン「こもれび」(月1回)、⑩絆カフェ デイハウス憩い (月2回)、
- ⑪絆カフェ 愛の家 (月2回)

4. ひとり外出見守り・SOSネットワーク

加東市では、認知症（かもしれない）の人が安心・安全に外出することを支援するため、「ひとり外出見守り・SOSネットワーク」を運用しています。

また、行方不明が発生したときに、早期発見に繋がる仕組みを構築しています。

- ・ネットワーク事前登録者数 56人
- ・ネットワーク協力機関数 226か所

SOSネットワーク

もし行方不明になった時、早期発見を図るネットワーク。

